市立
小諸高原美術館・白鳥映雪館

好評開催中

第38回 小山敬三記念小諸公募展「入賞・入選作品展」

小諸高原美術館・白鳥映雪館では、第３８回小山敬三記念小諸公募展「入賞・入選作品展」を開催中です。本展では、浅間山、千曲川、小諸及びその周辺を題材とした具象風景画の作品約百数十点を展示しています。歴代大賞受賞者の作品もあわせて紹介し、自然の移ろいを感じる見ごたえのある風景画が一堂に集結しています。

芸術の秋のひとときをぜひ美術館でお過ごしください。

▶期　間　11/23（土・祝）まで
▶観覧料　一般 500 円、小中学生 250 円
▶開館時間　9:00 ～ 17:00　※最終日は 15:00 まで
▶表彰式　11/3㈰・文化の日　14:00 ～
※表彰式当日は一般の方の入館は午前中のみとなります。
▶主な賞
小山敬三記念大賞、長野県知事賞、小諸市長賞、
小諸市教育長賞、小諸市議会議長賞、審査員長賞、
協賛企業賞、学生賞など
▶ 11 月中の休館日
11/4㈪、11㈪、18㈪、25㈪

問　市立小諸高原美術館・白鳥映雪館　☎ 26-2070

昆虫写真家

海野和男の小諸日記

クロナガアリ

クロナガアリは秋だけ巣の入り口を開け１年分の食糧を集める。主にイネ科の実を集める収穫アリだ。

クロナガアリが活動をはじめるのは 10 月初め頃からで、11 月に入り、他のアリが少なくなった頃には、よく目立つ。比較的乾いた場所が好きなアリで、小諸では、浅間側でよく見る。舗装していない道に巣を作っていることも多い。

巣の入り口付近で見ていると、種をくわえたハタラキアリが次々に帰ってくるのが見られる。他のアリと比べ、とてもゆっくりと歩く。種を集めるので早くある必要はないのだろう。地面に落ちた種だけを集めているだけでなく、エノコログサなどに登って種をかみ切っているものが多い。タンポポの実はどうだろうかと蒔いてみると、すぐにやってきて運んでいった。

童心に帰って観察してみてはいかがだろうか。